岐阜県産業界

岐阜の成長企業トップインタビュー

アピ　野々垣孝彦社長に聞く

アピ
野々垣 孝彦 社長

アピ（岐阜市）は、はちみつやプロポリスなどの蜂産品のほか、健康食品・医薬品のＯＥＭ（相手先ブランド）生産を手がけ、ことし２月に創業110周年を迎えた。現在主力の健康食品事業が堅調に推移する中、後発薬市場の拡大で抗生剤の受注が増え、2017年８月期売上高は16年８月期比５％増の約320億円を計画。過去最高を更新する見込みだ。６月にはミドリムシの活用で注目されるユーグレナに出資し、資本業務提携した。野々垣孝彦社長に今後の戦略などを聞いた。

（岐阜支局長・伊藤吉登）

バイオ関連の研究を加速

―市場環境は。

「国内の健康食品市場は長寿社会化を背景にした健康志向の高まりもあり拡大基調だが、企業間競争は激しい。企画開発から携わるＯＤＭ（オリジナル・デザイン・マニュファクチャリング）への動きを加速する。黒子の役割の会社だが消費者目線で独自性を発揮する商品作りを担いたい。

医薬品抗生剤事業は後発薬市場の拡大で好調。立ち上げから13年目の前期に黒字化できた。医薬品事業は先行投資型だが、抗生剤でしっかり利益が出せるようになった。一方で薬価改定の影響も受けるため、いかにコスト競争力を高め続けるかがテーマ。省人化の取り組みだけでなく、人材育成にも力を入れる」

―食の安全・安心に関する意識は高まっています。

「14年に医薬品クラスの高度な製造環境を整えた新しい概念の工場『ネクストステージ工場』（揖斐川町）を稼働した。原料や生産工程の記録・管理を徹底しておりトレーサビリティー（生産履歴管理）の確実性を担保する。工場内を複数エリアに分けており、各エリアを顧客ごとに完全に独立させることが可能。刻々と変化する顧客の要望に柔軟に対応できる。ハラール認証も取得しており、世界にモノづくりを発信できる。消費者に当社の安心・安全に対する取り組みを理解してもらえる環境作りを愚直に進め、自社のモノづくりブランド力を高めていきたい」

―１月にＩＨＩと創薬ベンチャーＵＭＮファーマが共同出資していた細胞培養法によるインフルエンザワクチン原薬製造会社ＵＮＩＧＥＮを買収しました。

「遺伝子組み換え技術を使った昆虫細胞培養法によるインフルエンザワクチンの米国などへの輸出を目指す。ＵＮＩＧＥＮ立ち上げ時から連携してきた。当社はＵＮＩＧＥＮ岐阜工場（岐阜県池田町）隣接地にワクチン製剤工場を整備しており、一体運営により相乗効果を発揮しやすい。バイオテクノロジー関連の研究に注力しており、技術者を引き継げたことで体制も強化できる。米食品医薬品局（ＦＤＡ）に製造の審査を申請した。世界的に昆虫細胞培養法によるワクチンの需要は高いと考えている。このワクチン技術を開発・提供した米国の企業とも連携し進めていく」

―食品や化粧品の販売、バイオ燃料の研究などを行うユーグレナに出資されました。

「ユーグレナとは同社が上場する以前からの長い付き合い。両者の知見を生かし、商品開発力を強化していきたい。当社は中長期目標で売上高500億円を目指している。達成には健康食品と抗生剤事業の上積みとともにバイオ関連事業の成長が欠かせない。ユーグレナに限らず、さまざまな企業との連携を図りたい」

岐阜県では各務原市に整備した人材育成センターを活用し、成長産業の人材育成を強化している

岐阜県はことし３月に産業施策の基本方針「岐阜県成長・雇用戦略」を改定し、深刻化する人材不足や国の成長戦略に位置づけられる第４次産業革命への対応など、2020年に向けた八つの重要プロジェクトをとりまとめた。ＩｏＴ（モノのインターネット）導入促進支援やモノづくりスマート化の研究開発を推し進めるほか、海外を目指した競争力のある商品開発・販路開拓などを支援する。日本経済は緩やかな回復基調にあるが、県内企業が成長軌道を確かにするには生産性向上と新価値創造が欠かせない。産学官が連携し、イノベーションの創出につなげていく。

人手不足対策・ＩＯＴ導入促進支援

岐阜県は経済変動に強く、バランスのとれた産業構造構築を目指し、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを成長分野として位置づけ、14年に産業施策の基本的方針「岐阜県成長・雇用戦略」をとりまとめ、県内産業の活性化を図ってきた。

策定から３年が経ち、人材不足が顕著になっているほか、ビッグデータや人工知能（ＡＩ）への対応も大きな課題だ。こうした情勢をふまえ、改訂した「岐阜県成長・雇用戦略2017」。

雇用情勢の変化に伴う産業人材確保対策や第４次産業革命への対応など企業が直面する課題に優先的に取り組むとともに、従前からの航空宇宙、医療福祉機器、医薬品などの成長５分野の振興、観光の基幹産業化を推進すべく八つのプロジェクトに取り組む。

第４次産業革命推進で県内企業のＩｏＴ導入促進支援やモノづくりスマート化の研究開発を推し進めるほか、県内企業の人材確保を後押しするため、産学金官による協議会とも連携。学生の県内定着に向けたプロジェクトも進める。さらに高度人材として期待される外国人留学生や子育て中の女性、高齢者など多様な人材の就業を後押しするため、雇用環境の整備を促進し、産業の刃物や木工、和紙関連商品など、50品目以上の出品を目指す考えだ。応募商品の特徴に合わせて対象国を選び、18年３月末まで出品する。

出品事業者は岐阜県内の倉庫に納品するだけ。越境ＥＣを自社で手がけるちらし屋ドットコムが培ったノウハウを生かし、商品ページの翻訳や通関手続きまで一括してサポートなどを行う。配送商品には県産品認定カードも同封する。

人口減少に伴い国内市場が縮小する中、大きく伸長する越境ＥＣ市場は、中小企業にとって販路開拓の有効な手段として注目されている。一方、「配送や決済などに不安を感じる中小企業も多い」（河田真一ちらし屋ドットコム社長）という。県の担当者は「自社製品に対する海外消費者の反応を見るきっかけになる。有望な市場であり、最初のハードルを越える手伝いをした県で審査した上で地場産業の刃物や木工、和紙関連商品など、50品目以上の出品を目指す。応募商品の特徴に合わせて対象国を選び、18年３月末まで出品する。

出品事業者は岐阜県内の倉庫に納品するだけ。越境ＥＣを自社で手がけるちらし屋ドットコムが培ったノウハウを生かし、商品ページの翻訳や通関手続きまで一括してサポートなどを行う。配送商品には県産品認定カードも同封する。

人口減少に伴い国内市場が縮小する中、大きく伸長する越境ＥＣ市場は、中小企業にとって販路開拓の有効な手段として注目されている。一方、「配送や決済などに不安を感じる中小企業も多い」（河田真一ちらし屋ドットコム社長）という。県の担当者は「自社製品に対する海外消費者の反応を見るきっかけになる。有望な市場であり、最初のハードルを越える手伝いをした県で審査した上で地場い」と力を込める。

（次ページへ続く）

越境ＥＣ活用し海外販路開拓も

ビューティフルライフ創造企業
ハビックス株式会社
岐阜市福光東３-５-７
電話＜058＞296-3911
URL http://www.havix.co.jp/

KVK
Creating Value with You
お客様とともに
“快適な水まわり”を創造する。
KM6111EC
流し台用シングルレバー式シャワー付混合栓（センサー付）
株式会社KVK
水まわり空間創造企業
http://www.kvk.co.jp/
〒501-3304 岐阜県加茂郡富加町高畑字稲荷 641 番地

KAI
表面の美しい木目のようなダマスカス模様は、優れた硬度と均質性の証。芯材に採用した刃物鋼“VG-MAX”は、おろしたての鋭い切れ味を長く持ち続ける。KAIが永年に亘る刃物作りで培ってきた独自の刃付け技術により、鋭利な刃先を実現。
旬 SHUN
貝印株式会社 http://www.kai-group.com

http://www.juroku.co.jp/
十六銀行
All For Your Smile
140th Anniversary

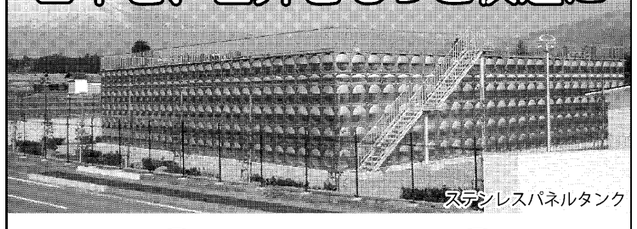
めざす未来はここからはじまる
CREATIVITY& INNOVATION
グローカルに 広く世界へ、深く地域へ

PACIFIC 太平洋工業株式会社
本　社／〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町１００番地
工　場／西大垣・東大垣・北大垣・養老・美濃・九州・栗原・若柳
海外拠点／台湾・韓国・アメリカ・タイ・中国・ベルギー
事業内容／自動車部品、電子機器製品等の製造ならびに販売
http://www.pacific-ind.co.jp

電設資材・給排水・ガス設備資材の製造販売
常に考える idea
JIS認証取得
MIRAI 未来工業株式会社
本社：岐阜県安八郡輪之内町楡俣1695-1　〒503-0201
TEL (0584)68-0001(代)　FAX (0584)69-3900
■支　店：仙台・新潟・東京・名古屋・大阪・中四国・福岡・住設部
■工　場：札幌・山形・茨城第1・茨城第2・茨城第3・大垣・垂井・熊本第1・熊本第2
■営業所：札幌・旭川・盛岡・仙台・郡山・新潟・松本・北陸・水戸・さいたま
東京・千葉・横浜・静岡・名古屋・大垣・大阪・神戸・高松・松山
広島・福岡・大分・長崎・熊本・鹿児島・沖縄
＊ホームページ＊
http://www.mirai.co.jp/

～ナノレベルから、世界を変えていく。～
見えないところに
イビデン。

IBIDEN
イビデン株式会社
http://www.ibiden.co.jp/

Pioneer of Tank technology
http://www.morimatsu.jp/
森松グループの確かな技術で
日本を、世界をもっと快適に

ステンレスパネルタンク
MORIMATSU
森松工業株式会社
本　社／〒501-0413 岐阜県本巣市見延 1430-8
TEL(058)-323-0333（代表）　FAX(058)-323-4969
支　店／東京・名古屋・岐阜・大阪・福岡
営業所／東北・北関東・長野・静岡・金沢・広島・高松・宮崎・鹿児島
海　外／上海・香港・釜山・ヒューストン・ストックホルム
工　場／本社・本巣・屋井・関東・福岡・熊本・上海・南通（中国）

「清潔」と「健康」の
プロフェッショナルとして、
未来を支え続けます。
●病院関連事業
●リースキン事業
●調剤薬局事業
●介護用品レンタル事業
●アクアクララ事業
●ハウスケア事業
●寝具レンタル・リネンサプライ事業
すこやかに生きたい、
その願いのそばに。
ご家庭からオフィス、医療機関まで。
株式会社トーカイが衛生管理のプロとして
あらゆる場所をクリーンにする
ノウハウを重ねて、半世紀以上が経ちました。
時代が進むほどに強くなる健康への願い。
その一つひとつを受け止めながら、
私たちは、すこやかな未来を創りだす
挑戦を続けてまいります。
株式会社トーカイ
〒500-8828 岐阜市若宮町９丁目16番地　TEL 058-263-5111＜代表＞
http://www.tokai-corp.com/